

今月の1冊

One of this month

Book

物理学者はごみをこう見る ZeroWaste ——家庭ごみ・放射能ごみはゼロ・ウェイストで解決

広瀬 立成 著

物理学者は ごみをこう見る ZeroWaste

——家庭ごみ・放射能ごみはゼロ・ウェイストで解決

広瀬立成

家庭ごみ、原発から出る放射能ごみを
どのように処理していくか、
ゼロウェイストの観点で「環境社会」から
「もったいない社会」へ。

第1巻：ごみと持続性
第2巻：生活と環境
第3巻：ゼロウェイストのごみ
第4巻：ゼロウェイストへの挑戦
第5巻：もったいない社会は市民の手で

自由出版社

1680円(税込)
自治体研究社
☎03-3235-5941

新刊

バイオレメディエーションで地球の水を甦らせる ～微生物博士の未来への挑戦

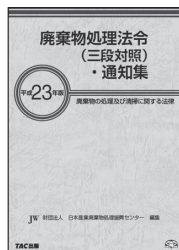
森下 日出旗 著



独自開発の「オーダーメイド微生物」による排水浄化システムをまとめた一冊。著者は大阪市立環境科学研究所で污水浄化プロジェクトに従事、低コスト、低負荷の浄化法を提案している。1470円(税込) 総合法令出版(株) ☎03-3584-9821

廃棄物処理法令(三段対照)・通知集(平成23年版)

財日本産業廃棄物処理振興センター 編



廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行令、施行規則を相互の委任関係が分かりやすい三段対照に編集した。2011年3月発出された関係通知を掲載、罰則一覧を資料で添付している。4200円(税込) 財日本産業廃棄物処理振興センター ☎03-3668-6511

私たちにたいせつな 生物多様性のはなし

枝廣 淳子 著



国際的な議論の流れや国内の取り組みとともに、生物多様性とビジネス・生活両面との関わりにも言及している。著者は「成長の限界」の訳者で、生態系を壊さない成長の在り方も紹介。1470円(税込) (株)かんき出版 ☎03-3262-8015

市民が主体となって、ごみゼロを実現すべく取り組みを進めてきた町田市。本書は、その核となるNPO法人「町田発・ゼロ・ウェイストの会」理事長を務める著者が、実践で裏付けしてきた「ゼロ・ウェイスト」の手法と、物理学的観点から見た「ごみと持続性」について紹介したものだ。著者は物理学者として「焼却ありき」のごみ処理政策に警鐘を鳴

らし、ゼロ・ウェイスト社会を目指すための指針「4L」を提唱する。4Lとは「Local(地域・住民主義)」「Low Cost(低コスト)」「Low Technology(ローテク、地元で対応可能な技術)」「Low Impact(低環境負荷)」である。特に過去の溶融炉等での事故や福島県の東電原子力発電所の爆発などを基に、ハイテク技術のリスク管理の困難さを強調。ゼロ・ウェイストを進めるうえで地域が担う役割が極めて重要であるだけに、地域で持続できる仕組みを作ることができる「ローテク」が重要であると力説する。

これまでの「ごみゼロ政策」は、ごみの焼却処理を中心として「大量リサイクル」を進める向きが多かった。本書では、「ごみになるものを作らない、ごみを燃やさない、埋め立てない」という基本理念を打ち立て、「いかに減らすか(直接的な方法によるごみ減量)」と「いかに暮らすか(価値観と生活スタイルを変えることで結果的にごみを減らす)」の組み合わせによる実践の仕方を事例とともに紹介する。

また町田の活動内容と成果も報告、ゼロ・ウェイストに挑む際の、あるべき取り組み方も具体的にわかる。理論と実践を積み重ねてきた著者の、ゼロ・ウェイスト挑戦の記録だ。

物理学者が挑む「ゼロ・ウェイスト」